

日本ジオパーク委員会からの指摘項目に対する事業実績（令和2～3年度）と今後の取組

令和元年10月4日～6日、再認定審査実施。9つの課題を与えられた。

平成31年4月「第2次佐渡ジオパーク基本計画」策定。その中の既存のアクションプランに再認定審査時の課題や改善点への対応を盛り込んで作成した「改正版アクションプラン」（資料No.1-2）に基づき改善を図っている。

【早急に解決すべき課題（概ね2年以内）】

指摘項目	アクションプランの取組	令和2～3年度事業実績	成果・完了事項	認定審査までの取組事項
①ジオサイトの整理と再設定	・サイトの再設定（5エリア） ・設定済みサイトの見直し ・ジオサイト設定総合計画の見直し ・活用ジオサイトに係る地域説明会の開催	・調査・研究部会で協議し、残り5エリア全てのサイト設定を完了した。	・活用ジオサイト設定完了（R2） ・地域説明会（ぶらジオ等）の開催 ・佐渡金山坑道内案内のジオパークガイド・金銀山ガイド合同研修及びお試し案内の実施	・ジオサイト設定総合計画の見直し ・文化サイト・エコサイトの整理 ・佐渡金銀山等の坑道内も含めた全体的な活用の検討 ・活用ジオサイトの地域説明会の開催
		・地域説明会を開催した（R3に1回）。		
		・地域説明会が新型コロナウイルスの影響で開催できない代替として、CNSテレビで「ぶら～りジオパークだっちゃ!」を製作・放映し、地域の活用ジオサイトの特徴や価値を伝えた。		
		・佐渡金山坑道内案内研修をジオパークガイド・金銀山ガイド合同（世界遺産推進課学芸員と講師を連携）で行い、お試し案内の機会を設けた。		
②管理運営体制のさらなる充実	・各部会の開催及び活動状況の情報共有 ・博物館学芸員・新潟大学関係者との連携強化に向けた連絡調整会議の開催	・協議会、運営委員会、4つの部会で構成。各部会の会議録を全員に配布し情報共有を図った。	・新潟大学・他課の学芸員や地域の多様な専門員と連携事業の実施	・専門職員の配置減による他との連携の強化
		・新潟大学や佐渡博物館との連携を強化し、共催事業や企画展などを開催した。		
		・市民講座等で新潟大学・世界遺産推進課・地域の有識者（岩首・沢崎・西三川・椿尾・宿根木）と連携して実施した。		
③専門的すぎる看板や冊子媒体類の改善	・既存看板のリニューアル ・新たな看板の整備 ・冊子類の見直し	・広報部会で協議し、既存の解説看板の修正を行い、盤面には必要最低限の価値（情報）と二次元バーコードを掲載。更に詳しい情報は専用サイトにより得られるように変更した。多言語にも対応。	・わかりやすい看板設置中（R2～） ・文化財室・県と連携 ・エリア案内パンフレットの作成（R3）	・看板設置（R4活用ジオサイト設置完了予定） ・文化サイト・エコサイトの看板更新
		・「佐渡の大地」「佐渡ジオパークマップ」などのパンフレットの内容を見直した。		
		・10エリアごとの案内パンフレットを作成した。		

【解決すべき課題（3、4年先を視野に）】

指摘項目	アクションプランの取組	令和2～3年度事業実績	成果・完了事項	認定審査までの取組事項
④ジオツーリズムの充実とマーケティング分析に関すること	・モデルコースの作成 ・教育旅行の充実 ・マーケティング分析に基づくジオツーリズム戦略の検討・決定	・教育旅行用のモデルコース（4コース）を設定し、先生用・生徒用のテキスト作成。ジオパークガイドへのガイド案内研修も開催した。	・マーケティング調査と結果の分析（R2～） ・教育旅行の充実 ・マーケティング結果による「食」のツーリズム開始（R2～）	・ツアーやガイド案内の充実 ・教育旅行・体験プログラムの充実（中学校用等） ・子どもの意見を取り入れたツーリズムの検討 ・情報提供の工夫
		・観光振興課・佐渡観光交流機構と連携しマーケティング調査を実施。事業部会で協議し「食」を取り入れ満足度を高めるため、「佐渡ジオパーク食」などのジオツーリズム事業を行った。		
		・モデルコースを活用した取材対応を行った。		
⑤拠点施設の再整備と系統的な情報発信の実施	・佐渡博物館展示の充実 ・博物館との連携による情報発信体制の構築 ・国内の他ジオパークに関する情報の発信	・佐渡ジオパークセンターに佐渡島とその周辺海域の床面地図を赤泊港から移設。展示替えなどにより情報発信の充実を図った。	・ジオパークセンターの展示の充実 ・ジオパークセンターへの誘導看板の整備 ・佐渡博物館での化石展の開催	・佐渡博物館での子どもの興味を抱かせる学習展示の充実 ・拠点施設での観光客向け情報発信体制の構築 ・他ジオパークの紹介やパンフレットの設置
		・佐渡汽船からの導線にセンターまで及びセンター入口に誘導看板を整備した。		
		・佐渡博物館において『佐渡島大化石展』を開催。佐渡産出の化石等の解説展示を行った。		
⑥3事業の実質的な効果の創出	・定期的な情報交換 ・イベント企画会議の実施 ・看板等の共同作成の検討	・市民講座等で世界遺産推進課・農業政策課と連携し、世界文化遺産登録活動やGIAHSとジオパークとの関連性やそれぞれの魅力を伝える講義を行った。	・3事業の連携会議・企画会議の開催 ・講座や看板設置等の関係課・者と連携	・3事業を含めた連携事業の実施
		・名勝地等への看板設置について、設置予定の看板にジオパークのロゴマークや二次元バーコードを貼付してもらうなど、担当課と協議した。看板の乱立防止。		
		・3事業関係課との連携会議や企画会議を行い、今後の事業展開について協議した。		
		・トキガイド養成講座や㈱ゴールデン佐渡社員研修会において、佐渡の成り立ちやジオパークとの関連について出前講座を行った。		
⑦鉱物販売に関する理念の周知	・現況調査 ・販売業者との話し合いの継続	・鉱物販売の現況調査を行い、一覧表を作成した。	・鉱物販売の現況調査を行い、ジオパークの理念を伝えた。	・現況調査結果による対応検討 ・販売業者との話し合いの継続
		・販売業者にジオパークの保護・保全に関する理念についてチラシを作成して説明。一定の理解を得られた。		

【前回からの課題（継続）】

指摘項目	アクションプランの取組	令和2～3年度事業実績	成果・完了事項	認定審査までの取組事項
⑧保護・保全活動	・活用ジオサイトパトロールの実施 ・草刈・ごみ拾いの実施 ・地域説明会の開催 ・ジオサイト保護保全管理計画の改訂（第2版）	・活用ジオサイトのパトロールを月1回程度実施し、保護・保全の観点に併せて危険箇所の確認をした。	・計画に基づき、パトロール実施 ・保護保全意見交換会の開催	・地域説明会・学術研究フォーラムの開催 ・ジオサイト保護保全管理計画の改訂（第2版）
		・ジオパーク保護保全に関する意見交換会を開催した（佐渡地域振興局・世界遺産推進課・環境対策課・ジオパーク推進室参集）。		
⑨ストーリーの再構築	・総合解説本（仮称）の作成	・佐渡ジオパークオリジナル映像を制作し、佐渡島の成り立ちや佐渡ジオパークのストーリーを映像化、明確にした。	・オリジナル映像の制作（R2完成） ・総合解説本の出版（R3完成）	・ストーリー普及のための副読本の作成
		・総合解説本（仮称）作成の編集委員会を組織し、作成・出版した。		